

第5回

ECOTOURISM AWARD 2009

エコツアーリズム大賞

地球と人に優しい旅を！
日本のエコツアーリズムの担い手たち



エコツアーリズム大賞概要	1
■ 審査委員長講評	
「第5回エコツアーリズム大賞」の選考を終えて	1
大賞受賞者の紹介	3
優秀賞受賞者の紹介	4
特別賞受賞者の紹介	6
応募状況	8

エコツーリズム大賞の概要

エコツーリズム大賞とは

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに取り組む個人、事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するものです。全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上並びに、情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的とし、平成17年度から行なっています。

応募対象

地域の自然環境や歴史文化を保全しつつそれらを体験する「エコツーリズム」に関連し、環境保全活動を取り入れた取組や、様々な自然体験（農林水産業体験や生活文化体験を通じた自然環境への理解につながる活動なども含む）の取組、その他の取組について、環境保全や地域活性化、良質な体験提供等の視点から特に優れた活動を行っている個人、事業者、団体、自治体など（例：ツアー事業者、宿泊業者、交通事業者、コンサルタント、協議会、地域団体、学生団体、地方公共団体など）を対象としています。

過去の大賞受賞団体

- 第1回 ピッキオ（長野県）
- 第2回 ホールアース自然学校（静岡県）
- 第3回 認定特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト（北海道）
- 第4回 飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会（埼玉県）

審査委員長 講評

「第5回エコツーリズム大賞」の選考を終えて

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 下村彰男



エコツーリズム大賞も5回を数えることになりました。前回までは応募数が徐々に減ってきていましたし、当初より、毎年表彰を継続していけるのかと心配していたのですが、今回は応募総数83件と大きく回復しました。また後述するように、様々なタイプの組織からの応募が出てきていることを考え合わせますと、ようやく継続性への目途も立ってきたのではないかと考えています。

実際、今回の受賞者の中には、これまでとは性格やフィールドの異なる組織があることにお気づきだと思います。都市域をフィールドとして日常とは異なる視点を提供することで活動しているものや、都市域に拠点を設けて積極的に情報提供活動を展開し、地域と都市との橋渡しをしているものもあり、自然域や農山村域だけでなく都市域での活動も視野に入ってきました。この他にも、宿泊や移動（交通）、飲食など、ツアーを構成する個々の活動を担う組織から、ツアーのプログラムやガイド等を提供する組織、まちづくりや地域振興などを総合的に展開している組織にいたるまで、様々なタイプの組織から

の応募が見られました。審査を重ねる毎にジャンルの多様化が進んでいることを実感しています。「エコツーリズム大賞」も徐々に社会に浸透し、エコツーリズムが多様な側面を有していることへの理解促進に一役買っているのではないかと考えています。

一方で、今回、「大賞」を受賞された「海島遊民くらぶ（有限会社オズ）」さんは、エコツアーを実施する民間組織としてスタートしていますが、それだけに止まらず、他組織や行政をも巻き込みながら、地域の環境保全や産業支援、そして教育と、総合的に活動を展開されています。エコツーリズムは様々な側面を有していますが、本来は、それら個々の側面が相互に結びついて豊かな地域の暮らしを支えていく仕組みであると言えます。だからこそ「大賞」は総合的に取り組んでいる組織が選出されているわけです。様々なジャンルから数多くの組織がエコツーリズムに取り組み、やがて「地域」を視野に入れた総合的な活動に展開していくことを期待しています。

第5回 エコツーリズム大賞の経緯

募集期間 平成21年9月7日～11月13日

応募総数 83件

表彰式 平成22年1月14日

受賞者一覧

大賞

海島遊民くらぶ（有限会社 オズ）

エコツアーを通して、鳥羽らしい持続可能な観光のあり方から、持続可能な地域づくりへの貢献を目指す。観光から感幸へ。

優秀賞

富士山登山学校ごうりき

富士山エコツーリズムの進化を目指して

紀南ツアーデザインセンター

熊野の豊かさを伝える、三重・紀南エコツーリズム

特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館

24時間 365日オープン建物のない美術館

特別賞

知床オブショナルツアーズ SOT!

知床の森を知るツアーは、知床が大好きになるツアーです。

ゆっくりずむ北海道

北海道を美味しく楽しく感じるエコツアー

株式会社 JTB 関東

「地球に優しい靴で行きたい」GREENSHOES

特定非営利活動法人 あそんで学ぶ環境と科学倶楽部

河川との関わり等を、歴史や街づくりから見て学ぶツアー

有限会社 地域観光プロデュースセンター

滋賀の自然や生活文化を活かしたエコツーリズムを広める活動。

エコガイドカフェ（エコツアーラボ合同会社）

観光客が来れば来るほど美しくなるエコバカンス



表彰式



授与式

審査委員

審査委員長

下村 彰男

東京大学大学院農学生命科学研究科教授

奥山 隆哉

社団法人 日本旅行業協会理事・事務局長

海津 ゆりえ

特定非営利活動法人
日本エコツーリズム協会理事

桜井 義維英

特定非営利活動法人
自然体験活動推進協議会理事

佐藤 博康

松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科
学科長・教授

海島遊民くらぶ（有限会社 オズ）

エコツアーを通して、鳥羽らしい持続可能な観光のあり方から、持続可能な地域づくりへの貢献を目指す。観光から感幸へ。

講評

第2回に特別賞、第3回に優秀賞を受賞しているが、精力的に活動を継続するだけでなく着実に活動が広がり、地域への波及が見られ、進化している。当初から、地域の漁協との連携などにより地域と協調し、地元住民等と協働で資源の保全を図りつつ、地産地消や雇用創生など地域の経済効果を高める努力をしてきたが、さらに、企業やNPOと連携してユニバーサルエコツアーを実施したり、学校との連携を強化して次世代の育成にも力を注ぐとともに、地域に呼びかけてエコツーリズム協議会準備会を設立するなど、活動の幅や地域での広がりが見られる点が評価できる。また、地域外からも注目され、インターンシップやエコツーリズムの実習研修を受け入れており、今後も全国の先導役となることが期待される。



応募の概要



エコツアーの実施、ルール作り、資金メカニズム、地域連携に取り組むとともにエコツーリズム協議会準備会を設置。

受賞の言葉

この度は、海島遊民くらぶのエコツーリズム大賞受賞に際し、地域の方々始め、今日この日まで見守り支えてくださった皆様方へ、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。振り返ってみますと、ないものをねだるのではなく、地域の方々に協力していただき、Give & Take の関係を築いたからこそ、今、町や人に必要とされる私たちがあるということであると深く感じております。地域で活動する私達にとって、エコツーリズムは、ニューツーリズムではなく、本来あるべき日本の旅の姿とまちの営みの双方向の取り組みなのではないかと思えます。これからも、ともに楽しく生きていける循環のため、私達がこの地域で活動し続けられるよう励んでまいります。皆様、どうぞ今後とも、よろしく願い申し上げます。



活動内容

地元学・自然についての知識をおもてなしのスキルを持ったプロガイドによるエコツアーを実施、資源の保全と持続的利用のための自主ルール作りと実践、環境教育・保全資金として地元漁協へ寄付するなど地元へ還元する資金メカニズムを実践。地元住民や事業者、行政との地域連携等の取組に加え、平成21年度は、エコツーリズム協議会設置の提案を行い、主たる団体組織が参加するエコツーリズム協議会準備会を設置するとともに、ツアーをバリアフリーからユニバーサルエコツアーへと進化させた。また、小学校と連携したしまっ子ガイド育成事業を3学年を通した総合学習へと発展させ、大学生インターンシップや他地域のエコツーリズム推進担当員の実習研修を受け入れた。



組織の沿革

代表者名：江崎 貴久
設立：2001年
所属人数：10名

連絡先

〒517-0011
三重県鳥羽市鳥羽1丁目4番53号
Tel: 0599-28-0001
e-mail: kurage@oz-group.jp
web: http://oz-group.jp/

優秀賞

富士山登山学校ごうりき

富士山エコツーリズムの進化を目指して

山梨県富士吉田市

講評

富士山北麓地区において、持続的に質の高いエコツアーを提供しエコツーリズムの推進に取り組んでいる。第2回に特別賞を受賞して以来、登山時の安全管理にも配慮し、参加者の安全確保のための技術向上にも取り組むとともに、富士登山だけではなく、地域文化を掘り起こして富士講にまつわるエコツアーを実施したり、自然環境のモニタリング調査や評価に協力したりするなど、地域の自然と文化を後世に残していこうとする姿勢が評価できる。



応募の概要

大型観光地である富士山全域において、少人数制のエコツアーにこだわり、富士山エコツーリズムの推進を目指す。

活動内容

富士山エコツーリズムの推進を目指し、大型観光地である富士山全域において少人数制のエコツアーにこだわり、特に安全管理体制を確立して先駆的にエコツアーを開発、実施するとともに、昨年度から、持続的なエコツアー実施のために、大学と連携してエコツアーやフィールドのモニタリング・評価を実施している。また、富士山文化や地域固有の慣わしなどを体感、理解するエコツアーを実施し、地元施設・産業の利用を促して滞在型観光を目指しつつ、インバウンドの受入も積極的に拡大を図っている。



組織の沿革

代表者名：近藤 光一
設立：2002年10月
所属人数：3名

連絡先

〒403-0012
山梨県富士吉田市旭 4-1-14
Tel: 0555-24-1032
e-mail: info@fujitozan.jp web: <http://www.fujitozan.jp/>
(平成22年2月23日より株式会社合力)

優秀賞

紀南ツアーデザインセンター

熊野の豊かさを伝える、 三重・紀南エコツーリズム

三重県熊野市

講評

南紀・熊野地区においてエコツーリズムの推進に取り組み、熊野らしさを活かしたモデルエコツアーを精力的に提供している。第1回に特別賞を受賞して以来、他の地域にない特有の歴史・文化・自然の中で昔から大切に受け継がれてきたものや消えてしまったものに目を向けてきた。本物の「熊野らしさ」について検討・議論を深化させ、プログラムの体系化に結びつけており、この地域のモデル的取組となっている点が評価できる。



応募の概要

紀南地域の人と自然が織り成す独特の魅力を、理念に基づくエコツアーとして広く紹介。

活動内容

紀南地域の人と自然が織り成す深く独特な魅力を、理念に基づくエコツアーとして広く紹介している。広域にわたり“熊野”と捉え、人と人、過去と現在の繋がりを大切にして紀南ツアーデザインセンターが素晴らしいと感じるものを、それぞれの地域の方々からの発案や協力の中、共に楽しみ感動しながら取組を続けている。エコツアーを通して見えてくる熊野の本質から、現代社会に新たな心の豊かさを提供し、熊野の魅力を高めている。



組織の沿革

代表者名：室谷 洋一
設立：2004年6月7日
所属人数：4名

連絡先

〒419-4323
三重県熊野市木本町 517-1
Tel: 0597-85-2001
e-mail: kinan-tdc@nifty.com
web: <http://homepage3.nifty.com/kinan-tdc/>

優秀賞

特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館

高知県幡多郡黒潮町

24時間 365日オープンの建物のない美術館

講評

「私たちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です」というコンセプトで、地元の「砂浜」を「美術館」として20年にわたり活動している。砂の彫刻に没頭して砂にまみれるうちに豊かな自然に気付く、漂着物を様々な角度から楽しむうちに環境問題を考えるなど、地域を見直すきっかけとなり、地域と外部の人々を繋ぐとともに、できる限り地元住民が参加できるように様々な仕組みを工夫し、地域活動として定着している点が評価できる。



応募の概要

長さ4kmの砂浜を「美術館」ととらえ、身の回りの自然を「作品」化し、地域の資源を見直すメッセージを発信。

活動内容

長さ4kmの砂浜を「美術館」ととらえ、普段何気なく見過ごしている身の回りの自然や風景を「作品」化し、新しい価値観を創造する四季折々のオリジナルの企画を通して、地域の様々な資源を見直すメッセージを発信している。

「漂流物展」等のイベントだけでなく、館長であるニタリクジラに会いに行く「ホエールウォッチング」を実施している。また、イベントで協力金を得て、砂浜や入野松原の保全等にも活用している。



組織の沿革

代表者名：安光 平
設立：1989年
(NPO法人化は2003年)
所属人数：10名

連絡先

〒789-1911
高知県幡多郡黒潮町浮鞭 3573-5
Tel: 0880-43-4915
e-mail: nitari@sunabi.com
web: <http://sunabi.com>

特別賞

知床オブショナルツアーズ SOT!

北海道斜里郡斜里町

知床の森を知るツアーは、知床が大好きになるツアーです。

講評

継続してエコツアーを実施しているとともに、地域の清掃活動へ参加したり、年間売上の一部を地元斜里町のトラスト運動や自然再生事業へ寄付するなど、地道な活動を通して地域全体へ波及している点が評価できる。

活動内容

『多くの方に知床を好きになっていただく』というビジョンの下、知床において“楽しんでいただけるガイドツアー”を行っている。自然保護を伝えるために、堅苦しい話や知識をひけらかすのではなく、参加者が自然の不思議さやユーモアを感じられるようなガイディングにこだわっている。



組織の沿革

代表者名：鈴木 謙一
設立：1999年8月11日
所属人数：3名

連絡先

〒099-4351
北海道斜里郡斜里町ウトロ香川67番地
Tel: 0152-24-3467
e-mail: info@shiretoko.info
web: http://www.shiretoko.info



特別賞

ゆっくりずむ北海道

北海道札幌市

北海道を美味しく楽しく感じるエコツアー

講評

札幌市内にカフェをオープンして市民向けの情報活動の拠点とし、地元食材の料理の提供やガイドによる講演を行い、興味があればエコツアーとして生産地等へ行けるよう展開しており、都市を拠点として活動するエコツーリズムの新しい形として評価できる。

活動内容

「おいしく・楽しく・学べるエコツアー」をスローガンに、生産地を訪ねる食農教育型エコツアーを展開。そのエコツアー収益の一部を「環境負担金」とし、環境活動・地域作りの費用に充当。札幌市内に情報発信カフェを新しくオープンさせ、情報提供を行っている。



組織の沿革

代表者名：塚田 宏幸
設立：2006年3月1日
所属人数：2名

連絡先

〒064-0954
北海道札幌市中央区宮の森4条12丁目11-7
Tel: 011-616-9091
e-mail: info@yukkureism.com web: http://www.yukkureism.com



特別賞

JTB 関東

埼玉県さいたま市

「地球に優しい靴で行きたい」 GREENSHOES

講評

旅行業者の立場から幅広いエコツアーを展開している。カーボン・オフセットを軸にしてツアーの内容は多岐にわたり、また、対象も企業のCSR活動向けやグループ旅行、個人向けなどに分け、気軽に参加できる仕組みを構築しており、多角的な取組が評価できる。

活動内容

2007年にエコツアーブランド「GREENSHOES (グリーンシューズ)」を立ち上げ、展開している。エコツアーを4つのカテゴリーに分け、様々な商品を提供している。「CO2ゼロ旅行」をはじめ、2007年以降17万人が参加した。



組織の沿革

代表者名：坪井 泰博
設立：2006年2月
所属人数：680名

連絡先

〒330-6016
埼玉県さいたま市中央区新都心11-2
LAタワー16階
Tel: 048-600-2465
web: http://www.jtb.co.jp/kanto/greenshoes/index.asp



特別賞

特定非営利活動法人 あそんで学ぶ環境と科学倶楽部

河川との関わり等を、歴史や街づくりから見て学ぶツアー

講評

電気で動くエレクトリックボートを使って簡単には近づけない都市の水辺を巡り、街づくりや歴史、現代の環境問題などを考えさせるエコツアー催行している。地上からではなく、水辺から見るといった新たな視点を提供することによる都市型エコツーリズムの萌芽的取組として評価できる。

活動内容

東京の街を水辺から眺め、歴史的な文化財の数々、私たちが現代社会で手に入れた便利な生活の中で犠牲になった様々な物を目の当たりにすることによって、環境保全の取組を自ら考えることができるエコツアーを開催している。



組織の沿革

代表者名：中林 裕貴
設立：2005年11月1日
所属人数：90名程度

連絡先

〒104-0054
東京都中央区勝どき 3-15-3
本橋ビル 3-A
Tel: 03-5547-8778 e-mail: admin@enjoy-eco.or.jp
web: http://www.enjoy-eco.or.jp



特別賞

有限会社地域観光プロデュースセンター

滋賀の自然や生活文化を活かしたエコツーリズムを広める活動。

講評

滋賀県全域に、豊富な地域資源と人材を活かした、持続的なエコツーリズム推進を普及させるため、平成20年に行政、大学、NPOなどによる「エコツーリズム協会しが」を設立し、地域全体を巻き込んだ取組を展開している点が評価できる。

活動内容

5年前にエコツーリズム推進を目的とした協議会を設立し、中心的に活動してきた。地域の活動家、NPO、地域団体、行政が連携し、協働する地域づくり型エコツーリズムを創出するためのプロデュース活動を行っている。



組織の沿革

代表者名：吉見 精二
設立：2004年1月9日
所属人数：2名

連絡先

〒520-0044
滋賀県大津市京町 3-4-22 滋賀会館内
Tel: 077-527-0227 e-mail: info@ii-trip.com
web: http://ii-trip.com



特別賞

エコガイドカフェ (エコツアーラボ合同会社)

観光客が来れば来るほど美しくなるエコバカンス

講評

「エコバカンス」を提唱して継続的な活動を行い、環境省カーボン・オフセット認証を、エコツアーとして国内初の認証を受けた。サンゴ礁保全活動にも取り組み、マングローブ植林等も行なうなど、地域の自然環境保全につなげている点が評価できる。

活動内容

観光客が来れば来るほど美しくなる「エコバカンス」として、カーボン・オフセットや環境マネジメントを取り入れ、オニヒトデ駆除やマングローブ植林などによりサンゴ礁生態系の保全にも貢献するエコツアーを実施している。



組織の沿革

代表者名：猪澤 也寸志
設立：2002年1月
所属人数：10名

連絡先

〒906-0013
沖縄県宮古島市 108-11 平良港マリンターミナルビル 1F
Tel: 0980-75-6050 e-mail: eco@webman.jp
web: http://webman.jp



応募団体一覧

都道府県	名称
北海道	旭川ふるさと旅行株式会社
	株式会社 JTB 北海道
	H.E.S
	NPO 法人知床自然学校
	知床オプションツアーズ SOT!
	知床観光圏整備事業を核とした道東地域と札幌国際大学観光学部との連携事業
	NPO 法人アース・ウィンド
	ゆっくりずむ北海道
	NPO 法人そうべつエコミュージアム友の会
	株式会社洞爺ガイドセンター
	十勝千年の森
	NPO 法人 クッチャロ湖エコワーカーズ
	株式会社湧駒荘・大雪山倶楽部
	株式会社ツーリズムてしかが
青森県	白神マタギ舎
	NPO 法人白神自然学校一ツ森校
岩手県	ふるさと体験学習協会
	二戸市楽しく美しいまちづくり推進委員会
	NPO 法人体験村・たのはたネットワーク
群馬県	レイクウォーク
埼玉県	株式会社 JTB 関東
千葉県	京成バスシステム株式会社
東京都	NPO 法人八丈島観光リクリエーション研究会
	NPO 法人あそんで学ぶ環境と科学倶楽部
	有限会社リポーン
	未来生活
	株式会社 EGG5
	日本生活協同組合連合会
	株式会社ナショナルランド
	NPO 法人国際海洋自然観察員協会
	水元かわせみの里
神奈川県	Nature Guide LIS
	NPO 法人丹沢自然学校
新潟県	湯沢里山クラブ
富山県	富山市北部地域グリーンツーリズム推進協議会
石川県	能登島ダイビングリゾート
福井県	社団法人若狭三方五湖観光協会
山梨県	富士山登山学校ごうりき
	NPO 法人 えがおつなげて
	富士エコツアー・サービス
	株式会社生態計画研究所 早川事業所
長野県	NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター
	NPG (ナショナルパークガイド)
	湯みち街道・響きの会エコツーリズムネットワーク
	NPO 地域づくり工房
	株式会社南信州観光公社
	NPO 法人霧ヶ峰基金
岐阜県	飛騨・北アルプス自然文化センター
静岡県	稲取温泉観光合同会社

都道府県	名称
三重県	海島遊民くらぶ (有限会社オズ)
	紀南ツアーデザインセンター
	くまの体験企画
滋賀県	湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部
	針江生水の郷委員会
	早崎ビオトープネットワーク
	有限会社地域観光プロデュースセンター
京都府	NPO 法人 プロジェクト保津川
	宇川温泉 よし野の里
大阪府	株式会社農協観光 西日本グリーンツーリズム支店
奈良県	財団法人吉野川紀の川源流物語
和歌山県	NPO 自然回復を試みる会ビオトープ孟子
	NPO 法人生石山の草原保存会
	熊野ネイチャースクール森の国
	龍門山の自然を守る会
鳥取県	大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会
岡山県	国際海岸環境教育会議
徳島県	木沢の山と花と温泉ツアー
香川県	有限会社山地デザイン工房
愛媛県	まゆ
高知県	NPO 法人砂浜美術館
	海癒
	西土佐環境・文化センター 四万十楽舎
	黒潮カツオ体験隊
福岡県	筑後川まるごと博物館運営委員会
佐賀県	アジア小農法研究所
熊本県	財団法人阿蘇地域振興デザインセンター
鹿児島県	梢回廊キャノッピ
	屋久島フィールド情報センター
	Earthly Company
沖縄県	マリンショップうみまる
	エコツアーラボ合同会社
	石垣島沿岸レジャー安全協議会
	有限会社らんの里沖縄

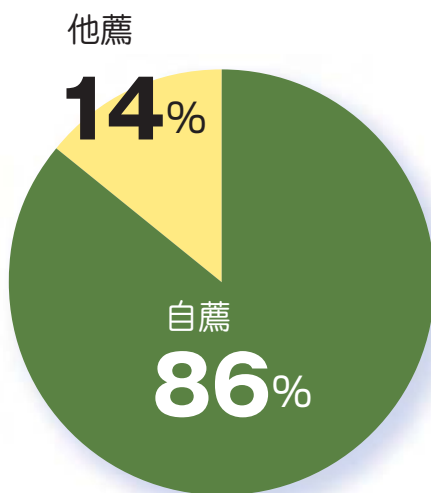


'09 ECOTOURISM AWARD

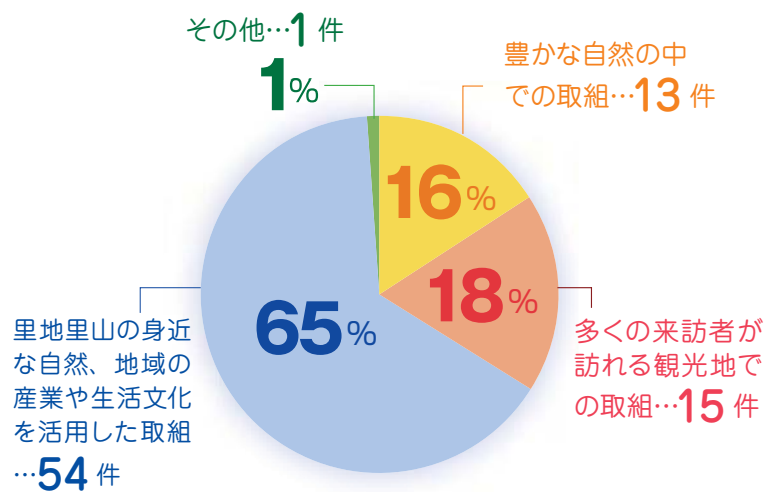
応募状況

第5回エコツーリズム大賞へ応募があった83件を、「応募主体」「地域特性」「取組分野」「対象主体類型」ごとに集計。さらに「全国応募状況」として都道府県ごとにまとめた。
 (「取組分野」と「対象主体類型」については複数応募のため、合計が83件を超える。)

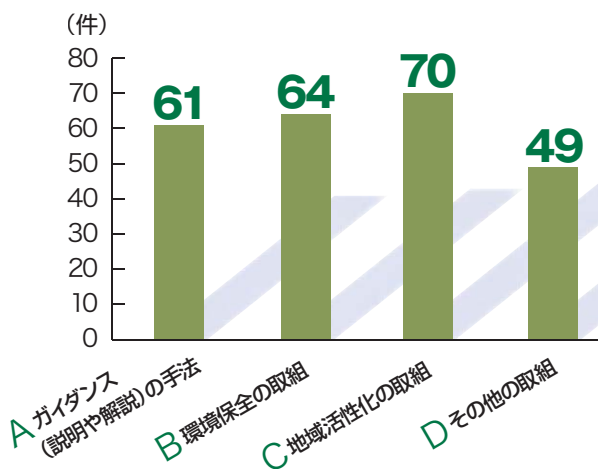
応募主体



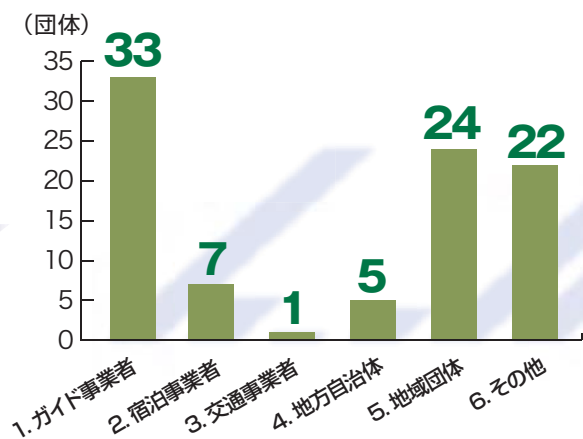
地域特性



取組分野



対象主体類型





全国応募状況



応募総数
83 団体



「第6回エコツーリズム大賞」募集のご案内

募集対象

●エコツーリズムへの優れた取組事例を募集します。

取組の例

- ・ 地域におけるエコツーリズム推進団体の設立と運営
- ・ 保全利用協定やガイドラインなどのルールづくりやその継続
- ・ 農業体験や校外学習などと連携したエコツアーの実践
- ・ 環境への配慮や環境保全への貢献
- ・ エコツアー等の情報提供の仕組み
- ・ 環境保全や地域振興への観光収益の還元システムづくり
- ・ エコツアーにおけるゴミの削減や環境負荷の低減
- ・ エコツアーのマーケティングや斡旋などを含めたエコツアー事業の運営など



表彰

●エコツーリズム大賞(1点)、エコツーリズム優秀賞と特別賞各数点を予定しています。

*受賞者には表彰状と副賞を授与します。

応募資格

1. エコツーリズムに取り組む個人、団体(事業者、企業、地方自治体、地域のグループ等)
2. 経験年数、法人格の有無、種類を問いません。
3. 自薦・他薦の別を問いません。
4. 過去のエコツーリズム大賞受賞者も応募資格があります。

募集時期

2010年夏頃予定。詳細は環境省ホームページでご案内する予定です。

(<http://www.env.go.jp/>)

審査

エコツーリズム大賞審査委員会において各賞を選定し、環境大臣が決定します。

決定後受賞者に通知し、表彰式を行います。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

発行日：2010年3月

発行：環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

TEL：03-3581-3351 FAX：03-3508-9278

<http://www.env.go.jp/>

制作協力：NPO法人日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society (JES)

